

2025 SEASON

TEAM



この道の先に

NIPPO



# チームへの熱い応援、 ありがとうございました!

3

ツール・ド・熊野とツアー・オブ・ジャパン、日本での二つのビッグレースが無事に終わりました。今年はチーム NIPPO として、ベルギー籍 UCI コンチネンタルチームのワンティ・NIPPO・リューズが両レースに初出場。選手、スタッフともにほとんどのメンバーが初来日であり、発見と出会いに満ちた素晴らしい遠征になりました。そのなかでも、ツール・ド・熊野では厳しい雨のステージで今村駿介が逃げ切り区間優勝、またツアー・オブ・ジャパンでは、現在 21 歳のベルギー人選手マクス・プラスが個人総合成績 9 位、23 歳未満の選手を対象とした新人賞を獲得するなど、チームは大活躍しました。

ヨーロッパでは、ジロ・デ・イタリアが 3 週目を迎え、北イタリアでの過酷な山岳ステージが連日繰り広げられています。

引き続き、皆さまの応援、ぜひよろしくお願いいたします!



## アルバニアからローマをめざす 108 回目のジロ

シーズン最初のグランツール、ジロ・デ・イタリアがクライマックスを迎えています。今年はアルバニアをスタートしたのち、南イタリアやトスカーナを北上、3 週目の現在は北イタリアのアルプス山脈を舞台に最後の熱戦が繰り広げられています。そして約 3500km を走破したのち、6 月 1 日に首都ローマにゴールします。



第 1 ステージでは、22 歳のブッサートが区間 4 位に入り、新人賞ジャージを獲得。幸先のいいスタートでした。また第 10 ステージは、世界遺産ピサの斜塔でタイムトライアルが行われました。



ワールドチーム直下の育成チーム

ワンティ・NIPPO・リューズ



## 各地での応援ありがとうございました!

ツアー・オブ・ジャパンでは大阪・堺から東京まで 8 日間、すべての会場で NIPPO から応援団の皆さまが駆けつけてくださいました。チーム一同、皆さまの温かいご声援に感謝しています。ありがとうございました。皆さまの応援に背中を押されるようにして、マクス・プラス (写真左) は、第 7 ステージでクラッシュし、肘を 14 針縫うケガをしながらも、無事に東京ステージまで走り切り、新人賞を獲得することができました。



第 7 ステージで区間優勝に向けて果敢に狙った今村駿介。勝てなかったものの、欧州での経験が大きな自信に繋がっています。



岐阜の美濃ステージのスタート地点には忍者が登場しました!